

**美浦港のアオウミガメ** 面白いことが分かりました。

美浦港で見かけるウミガメは、アオウミガメです。入れ替わり立ち代わり回遊してくるのか、棲みついているのか？

広島大学の院生の皆さんと峯苦健さん、後藤さんに潜ってもらい、水中カメラで撮影したウミガメの甲羅の写真で、ウミガメに名前を付けてみました。すると、この6月～7月だけでも10頭以上のウミガメが美浦海岸近くにいることが判りました。ここ数年、大久保さんや鹿児島大学の小林さんから貰った写真と比べると、棲みついている片手のカメ以外にも、2年連続で見つかったアオウミガメがいることも分かりました。

どなたか、片手のウミガメが、何年前から見かけるようになったのたかを教えてもらえませんか？

表 美浦港沖のアオウミガメ

(○に数字は、写真撮影された月)

カメの名前	棲息が確認された年月			
	2011年以前	2012年	2013年	2014年
ジェーン (左前足なし)	2010年の目撃あり。	⑥ ⑪	① ⑦ ⑧	⑧
タツノオトシゴ		⑪ ⑫	⑥ ⑧	
みだれ			① ⑧ ⑥	⑧
ハト			⑧	⑥ ⑦
yakko33			⑥	⑧
首に星			⑧ ⑩	⑧
カミソリ				⑦ ⑧
流れ星				⑦
逆さn				⑦
yakko55				⑧
ゴルフ				⑧
buchi ブチ				⑧

本村港でも、多くの方が、アオウミガメが回遊しているのを目撃されています。水色の標識が足についているようです。もし番号がわかるようなことがあれば、教えてください。いずれは、本村港のアオウミガメも調査したいところです。

**向江浜のウミガメ**      とうとう子ガメの帰海を観測できませんでした。

向江浜が立ち入り禁止になって、ウミガメ調査を中断しています。今シーズンの向江浜のウミガメ調査は散々です。台風8号の大波で、7月10日に向江浜の砂浜がえぐられ、大半の産卵巣が流されました。良かれと思い、工事で廃棄された海砂を積み上げてもらいましたが、一夜で流失しました。自然の力の前で、人の愚かさを感じ、忸怩たる思いです。

上陸したウミガメの足跡：**56** 回

推測した産卵巣：**41** か所(大半は、台風8号で流失)

上記のうち、アオウミガメの産卵は **1** 回。

### **シカの頭数—路線密度—**

9月の結果です。

表      2014年9月19日の計測

月日	時間	コース	Km	合計	密度 頭数/km
9月19日	1930-2105	本村-田代	2.4	22	9.2
		本村-田代(海岸)	3.3	26	7.9
		本村-番が峯分岐	3	0	0.0
		本村-周道路	3	1	0.3

**手伝ってください**      11月にシカの糞粒調査をします。

すでに、皆さんに手伝っていただいておりますが、お手すきの方、是非ご協力ください。幸い、環境省からの予算で人件費が使えますので、時間給をお支払いできます。

ご連絡は、後藤か山口まで。

**10月号は来月に**      10月号の準備が遅れています。11月に配布します。